



ことりぐるーぷ～じっちょりんのタネから芽が出たよ！～

3月末にじっちょりんからお手紙と一緒にタネをもらいました。「なんのタネかな」「どんなお花が咲くのかな」とタネをみながら話していた姿があったので、お花の図鑑を見ながらタネを調べてみることにしました。「これかな?」「こっちのほうに似てる!」タネと図鑑を見比べていた子どもたち。「きっとアジサイとヒマワリだ」と似た形のタネを見つけたので、植え方を見ながら、育ててみることにしました。タネを植えて3日。芽が出ると「すごい!みてみて!」と目をキラキラさせていました。ゆりさんを中心に毎日水やりをしてくれています。園庭に出た時には、大きくなってきた葉っぱを見るさくらさん、ばらさんの姿もあり、何色のお花が咲くのか楽しみな子どもたちです!



テーブルふき おしえて! ～ばら～

ベッド運びをゆりさんと一緒にすることを頑張っているばらさん。ゆりさんがしていたことを自分たちができるといことが嬉しくて、寝起き、パッと自分の用意を終わらせて、「ベッド運び行ってくるね!」と言っている姿が見られます。5月中旬にはテーブル拭きを練習する時間を作って、「どうしてテーブルを拭くのか」「どんな拭き方をしたらきれいになるのか」ゆりさんに1つ1つ教えてもらい手を添えてもらいながら拭きました。テーブル拭きの拭き方が分かると、「できる!やってみる!」と気持ちが膨らんでいる様子が見られます。机の端から丁寧に拭く、水が落ちてなくなるまでテーブル拭きをしぼる、綺麗に並べて片付ける、たくさんの手順があって難しいところもありますが、意欲的に取り組んでいるばらさんです。

ゆりさんも小さな先生になって少しドキドキしながら丁寧に教えてくれていました。ばらさんには、ゆりさんのいないお泊り保育の日には、一番大きいお友だちとして自信をもって過ごしてもらいたいと思います。



やさしいね！おにいさん、おねえさん～さくら～

4月、2階の生活にドキドキしていたさくらさん。そんな時、お相手のゆりさんやばらさんが「ここでお着替えしようね」、「つぎはコップを出してうがいをするよ」と毎日さくらさんに優しく関わってくれることで、子どもたちも「うれしいな」「お手伝いしてほしいな」という姿に変わってきました。「〇〇ちゃん、〇〇くん」とお相手さんの名前を呼んで「一緒にやって」「食べさせて」とお相手さんに甘える姿も出てきています。お相手のお兄さん・お姉さんに優しくお手伝いをしてもらいながら少しずつ2階での生活にも慣れてきて、今では元気いっぱいな声と笑顔を見せてくれているさくらさんです♪



ゆい☆「おとまりほいくたのしみだね！」

いよいよみんなが楽しみにしているお泊り保育の日が近づいてきました。

5月にみんなで出かけた植物園に届いた八瀬の魔女さんからのお手紙とゆりさんとして頑張れる魔法がたつぷりと込められたラムネ。「みんなが安全に過ごせるように…」という魔女さんからの優しい言葉も聞いて、子どもたちにも今年度はお山の学校でのお泊りになることをお話しました。八瀬のお山には行けないのは悲しいけれど、いつも魔女さんが見守ってくれていることに目をキラキラさせていたゆりさん。「お山の学校ってどんなところかな？」と期待に胸を膨らませています。去年のゆりさんがどんなことをしていたか思い出して、みんなもお泊り保育の準備を始めています。「お泊りの本はどんな物にしよう」「キャンドル台は何を使って作りたいかな」「キャンドルサービスではどんな歌を発表したい？」とそれぞれのグループごとに集まって話し合う時間を持ちながらみんなで考えました。それぞれ意見が違うこともありましたが人の話を聞いたり、自分の思いを伝えたり…ひとつのことを決めるのは難しいことですが、そんな経験も子どもたちにはたくさんしてほしいと思っています。

お泊りの本を作っていると、「ゆりさんなにやっているの？」と興味をもつてのぞき込むさくらさんばらさんに、「ゆりさんだからおとまりほいくにいくんだよ。ゆりさんになったら〇〇ちゃんもつくれるよ！」と得意げに、嬉しそうに教えてくれました。

楽しいお泊り保育にする為、毎日準備で大忙しのゆりさん。自分たちで決めた歌の練習も自分たちのグループが一番かっよく歌えるようにとみんなが頑張ろうと少しずつ意識が見られるようになってきました。

おうちの人と離れて過ごすお泊り保育の日は、子どもたちにとって大きな自信を得られる時間になると思います。おうちでも、子どもたちが作ったお泊りの本を見ながら一緒に持ち物の用意をお願いします。

お泊まりを経験することでゆりさんはもちろんですが、ゆりさんがいない間のさくらさんとばらさんも大きな成長を見せてくれると思います！

27人みんなで力を合わせて楽しいお泊り保育の日を迎えられますように。。

